

発行：(公財)埼玉県母子寡婦福祉連合会

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5埼玉県浦和合同庁舎内

TEL 048-822-1951 Fax 048-822-1955

ホームページ <http://www.saiboren.or.jp>

メールアドレス:info@saiboren.or.jp

新年によせて

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの大流行で大変厳しい一年でございましたが、会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭に当たり、当連合会(以下母子連)の歩みについて振り返ってみたいと思います。

これまでの歩み

前身となるのは、昭和24年に戦争未亡人を中心に母子家庭や寡婦が互いに助け合うために結成された「埼玉県未亡人同盟」に遡ります。昭和28年に「埼玉県未亡人母子福祉連合会」となり、昭和33年に浦和に母子福祉センター(現在の母子福祉会館)を竣工しました。その後昭和62年に埼玉県から母子福祉センター管理業務を受託し、平成元年に「財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会」となりました。平成16年には母子部を設置し、居住地に母子福祉会のない方々のために広域会員制度を作りました。平成23年に母子福祉センター管理業務が終了、新たに母子家庭等交流・生活支援モデル事業及び埼玉県母子福祉センター法律相談等事業を県から受託しました。平成25年には公益財団法人として新たなスタートを切り、これを機に母子連は会員のみならず県内のひとり親家庭の福祉向上を目的に活動を行っていくことになります。

平成30年より県からひとり親家庭資格取得応援事業も受託しております。

現在の活動

看護師の資格取得を支援する看護学校受験対策講座や資格取得セミナー、就業を支援するパソコン教室、女性弁護士による無料法律相談、仲間目線での相談支援を行う地域相談員養成研修、そしてひとり親家庭向け研修会など県内のひとり親家庭に対する福祉の向上を目指す事業を実施しております。また、母子部が中心となり子育て支援セミナー、クリスマス会、スキー教室など親子で楽しめるイベントも企画・開催し、日頃忙しいひとり親家庭の子ども達へ楽しい交流の場を提供しております。その他にも、ローソン様からの奨学金、三菱商事様からのキャンプ招待など企業から様々な形でご支援をいただいております。

会長 是枝くみ子



私たちの成し遂げてきたこと

母子家庭の在り方が死別から離別へと状況が変わる中、「離別の母子家庭にも遺族年金に代わる措置を」との要望を行った結果、昭和36年に「児童扶養手当」が創設されました。また、当初18歳の誕生日までであった児童扶養手当を「高校卒業まで延長して欲しい」という要望も実り、平成6年に18歳に達した最初の年度末までの延長が決定しました。その後も、児童扶養手当が政府・与党において減額が検討された際には「減額しないで」の切実な声を上げ署名活動をした結果、平成28年には児童扶養手当2人目から増額となりました。私たちの活動が実り、一步一步前進してきたのです。一人では届かない声も仲間でもとまって要望すれば、大きなうねりとなり、変革をもたらします。

未来に向けて

ありがたいことに、昨年は一般の方々から多くの寄付を賜りました。ひとり親に心を寄せて下さる方がいるということは、本当に心強くまた嬉しいことです。幾多の変遷を重ねながらも母子連が続いてまいりましたのは、ひとえにひとり親の皆様の自助、共助の精神、行政や企業などの支援による公助、そして社会の皆様からのたくさんの暖かいご支援のたまものです。

母子寡婦福祉会は、ひとり親家庭の当事者団体です。母子連の長い歴史の中で培ってきたことを粘り強く後世に伝え、次世代を担う子どもたちのために声を掛け合い、自助、共助、公助の精神で負の連鎖を断ち切りましょう。そのためには、会の活性化が必要です。若い会員の皆様が働きながら活動できる組織づくりをしなければなりません。寡婦の皆様にご協力いただきながら、若い会員の皆様に活動を繋げ、各地域の団体を担っていく後継者たちが安心して仲間づくりが出来る会となるよう取り組む必要があるのです。同じ境遇であるひとり親同士、そして子ども同士が共助の気持ちを忘れずに助け合い、励まし合いましょう。

本年も皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

母子部長あいさつ

母子部長 安田裕子

明けましておめでとうございます。母子部長の越谷市の安田です。もう何期目？なのか把握できないほど母子部長を務めさせていただいています。母子連そして各市母子会では会員・非会員の人達との交流、情報共有など親子で楽しめる様々な行事を企画しておりますので参加していただけると嬉しいです。

看護学校受験対策講座について～

令和2年度の看護学校受験対策講座が終了し、受講生からは「合格した」との嬉しい声が続々と入ってきております。昨年度の受講生の声をご紹介します。

看護学校受験対策講座を受講して

看護学校受験対策講座の件は、ハローワークで知りました。長年続けた仕事も、看護師になりたい思いを抱えながら続けて行くのも悩んでいたところ、本当にありがたい転機でした。

受験勉強は大学受験以来で、何から取り組めば良いか分かりませんでしたが、6月の開講式で「中学の学習から復習しないと高校の学習は入ってこない」と教えていただき、懐かしい計算問題、図形の問題から始めました。

夏過ぎくらいから看護学校受験対策テキストに取りかかりました。見ても分からない事だらけでしたが、とても分かりやすく講義で解説していただき、「教えていただく幸せ」を実感しました。

毎週日曜日に子どもたちを置いて講座に通うのは後ろめたい気持ちもありましたが、学べる楽しさ、仲間との出会いがとても励みになりました。願書や自己推薦書のフォローから推敲まで丁寧にいただき本当に助かりました。

第一志望の都立看護学校に社会人入試で合格出来たのは、長年の経験をお持ちの先生方からのアドバイスや応援があったからだと思います。埼玉県母子連の方々にも、第一志望合格のご報告が出来て嬉しかったです。ありがとうございました。

看護学校は、本当に忙しい毎日です。家庭との両立がやはり大変ですが、家庭を大事に頑張っております。これから受験をされる皆さま、応援しています。頑張ってください！

2019年度看護学校受験対策講座受講生より

夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」について～

ローソングループと全母子協が実施する給付型の奨学金制度です。本年度は埼玉県では18名が給付を受けています。令和3年度も実施予定ですので、詳細が決まりましたら当連合会のホームページに掲載します。

奨学生の声

僕は今年の4月から高校に入学しましたが、新型コロナウイルスの影響で学校はしばらく休校でした。その間、僕と弟達は家で過ごす時間が増え、食費や光熱費がかさんでいきました。このような事情からアルバイトをする事も考えましたが、埼玉県母子寡婦福祉連合会、全国母子寡婦福祉連合会を通してローソン奨学金を給付させていただいているので、休校中も集中して勉学に励む事ができました。



6月から学校生活が始まってからは、授業に必要な物を準備しないといけなかったり、模試代や検定代等も必要となってきました。決して安くはないその費用も、ローソン奨学金のおかげで母の経済的負担を減らして勉強できる事は本当にありがたいことです。この感謝の気持ちを忘れず、夢の実現に向けて頑張っていきたいと思います。

2020年度奨学生（高校1年）より

令和3年1月～3月 行事予定

1月	オンラインメイクアップ講座(会員限定企画) 新春ハッピー占い講座 第6回パソコン教室
2月	第4回資格取得セミナー 第7回・8回パソコン教室(本年度受講された方対象)

3月	定時理事会 臨時評議員会 鉄道博物館(広域会員と非会員限定企画) 看護学校受験対策講座体験発表会&OB会 親子で学ぶプログラミング
----	---

※詳細はちらし・ホームページでお知らせします。 ※新型コロナウイルス感染状況により延期・中止となる場合があります。

埼玉県母子連広域会員・非会員(埼玉県在住の方)限定企画 鉄道博物館に行こう!

日 程:3月14日(日)
場 所:鉄道博物館
集 合:11時 鉄道博物館入り口(現地集合・現地解散)
費 用:広域会員 おとな 500円・子ども300円
非 会 員 おとな1,000円・子ども500円
入館料・お弁当つき!

第4回資格取得セミナー

第1部:看護師への道
第2部:歯科衛生士への道
日 程:2月21日(日) 12:45分～16時30分
場 所:With You さいたまセミナー室1,2
対 象:埼玉県内のひとり親家庭の親子とそのご家族
ひとり親家庭の支援に携わっている方
定 員:40名 参加費:無料

全国母子部長研修会は令和3年3月13日(土)・14日(日)きゅりあん(品川区)にて、全国母子寡婦指導者研修会は3月14日(日)アワーズイン阪急にて開催予定です。

女性弁護士による無料法律相談

離婚を考えている方、ひとり親家庭の親または寡婦の方を対象に、無料で法律相談を実施しています。

日程:1月13日(水) 2月3日(水) 2月17日(水) 3月17日(水)
会場:埼玉県浦和合同庁舎(北浦和駅西口徒歩10分)
時間:13:30-16:00(一人当たり40分間)
費用:無料 ※予約制

予約制ですので、まずはお住まいの市町村を担当する母子・父子福祉センターにお電話ください。相談員がお話を伺います。電話受付時間 平日(月～金曜日) 午前9時～午後5時

○東部中央母子・父子福祉センター ☎048-737-2139 ○北部母子・父子福祉センター ☎0495-22-0104
○西部母子・父子福祉センター ☎049-283-7991 ○秩父母子・父子福祉センター ☎0494-22-6237

次の市については独自で開催している法律相談をご利用ください。

○さいたま市にお住まいの方→さいたま市子育て支援政策課 ☎048-829-1948
○川越市にお住まいの方→川越市子ども安全課 ☎049-224-5821
○越谷市にお住まいの方→越谷市子育て支援課 ☎048-963-9172
○川口市にお住まいの方→川口市子ども育成課 ☎048-271-9441

ご不明な点はお気軽に
埼玉県母子寡婦福祉連合会へ
お問い合わせ下さい
☎048-822-1951

夜間電話相談のお知らせ

当連合会では埼玉県委託事業「母子家庭等交流・生活支援事業」の一環として、夜間電話相談を行っております。昼間は仕事があり相談することができないかたへ、平日(月～金 9:00-17:00)の他、毎月第3水曜日に相談員が夜間も相談を受付けていますので、どうぞご利用ください。

時間:17:15-20:15 1月13日(水) 2月17日(水) 3月17日(水)
☎048-822-1951 公益財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会

母子会紹介

～さいたま市母子寡婦福祉会(苺の会)～

コロナ禍だからこそその情報共有を

私達さいたま市母子寡婦福祉会(苺の会)はさいたま市を東(岩槻区)北(西区、大宮区、北区、見沼区)南(桜区、中央区、浦和区、緑区、南区)の3支部に分けてそれぞれ活動しているほか、年2回新年会やバスハイクなどの合同イベントを開催し、それぞれひとり親ならではの子育ての悩みなどを気軽に相談しあえる仲間作りをしています。苺の会の会員さんは皆アクティブで、BBQやキャンプなどにも取り組んでいます。また県母連からいただいた資格所得セミナーやパソコン教室の情報を就職や転職活動に役立てている会員さんもいらっしゃいます。

現時点での1番の悩みは新型コロナウイルスの感染拡大をどのように防ぎながらイベントを開催し、ひとり親の活動や支援をするかです。苺の会では県母連のホームページの他、Facebookなどでもイベントの告知を行っています。またこのような時だからこそ、皆様が知り得た情報を共有していきたいと思っています。もし苺の会に興味がある方はお気軽にご連絡ください。

副会長 須田あかね

～令和2年～たくさんのご寄附をいただき、ありがとうございました!

- ・NPO法人care nation様を通じて「銀座ステファニー化粧品」様及び「エフエムジー&ミッション」様等から日用品等
- ・NPO法人チャリティーサンタ様から絵本
- ・社会福祉法人埼玉県共同募金会様を通じて「ビバリーグレンラボラトリー株式会社」様から化粧品
- ・匿名希望様(杉戸町在住)から米
- ・匿名希望様(川口市在住ほか5名)から現金
- ・「コカ・コーライーストジャパン株式会社」様からノベルティ
- ・「株式会社ロツテ」様から菓子 (敬称略)



【賛助会員(個人・団体(法人))募集!】

ひとり親家庭への福祉活動にご賛同くださる個人、法人の賛助会員を募集しております。

個人賛助会員:(1口)1,000円 法人賛助会員:(1口)3,000円

当会の活動趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



母子福祉会に入りませんか

母子福祉会は、ひとり親家庭の皆さんに、必要な生活情報などをお届けします

入会、その他母子会についてのお問い合わせは

(公財)埼玉県母子寡婦福祉連合会

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎内

TEL 048-822-1951 FAX 048-822-1955 e-mail:info@saiboren.or.jp

公式ラインはじめました。

LINE ひとり親家庭のお役立ち情報をいち早くお届け!
お友だち登録をお待ちしております。

友だち登録のしかた

- 1.LINEアプリを開く
- 2.画面下の🏠を押す
- 3.ホーム画面右上の👤を押す

方法1 画面上にある[QRコード]を押し上のQRコードを読み取る

方法2 🔍 から、ID[@534ugiqi]と入力

検索



ホームページ

<http://www.saiboren.or.jp>

埼玉県母子連

🔍 検索



この広報紙は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

